



平成23年11月2日

各位

上場会社名 日本精鉱株式会社  
 代表取締役社長 木嶋 正憲  
 (コード番号 5729)  
 問合せ先責任者 常務取締役 経理部長兼企画管理部長 渡邊 繁樹  
 (TEL 03-3235-0021)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月13日に公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,000	970	930	600	48.93
今回修正予想(B)	13,500	1,000	950	620	50.57
増減額(B-A)	△500	30	20	20	
増減率(%)	△3.6	3.1	2.2	3.3	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	10,878	876	826	685	55.87

平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,100	325	375	280	22.84
今回修正予想(B)	8,500	560	610	440	35.89
増減額(B-A)	△600	235	235	160	
増減率(%)	△6.6	72.3	62.7	57.1	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	6,339	330	383	453	36.99

#### 修正の理由

当社グループを取り巻く事業環境は、アンチモン事業、金属粉末事業ともに、当第2四半期累計期間においては震災による落ち込みからの持ち直し等があり、業績も順調に推移致しました。

第3及び第4四半期(平成23年10月～平成24年3月)においては、円高、電力不足、欧州財政危機、中国の成長ペースの減速、タイの洪水等の懸念により、景気の不確実性が高まることが予想されます。

このような事業環境下において、通期の売上高は個別、連結共に期初予想より若干の減収となる見込みですが、製造効率改善やコスト削減に伴い、連結の営業利益、経常利益、当期純利益はほぼ期初予想数値を確保出来る見込みです。

また、個別の経常利益、当期純利益は、上期の好業績を反映して60%程度の増益となる見込みです。

(注) 上記予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上